



い
っ
ま
で
は
も
い





いや、すごかったなー!!

会場の
一体感!!

りく君もめっちゃ
もりあがってたね!!

このことは、ツイッターで
知り合い、同じバンドが
好きということ仲良くなった。

そりやもう!!

女の子なんだけど、男友達の
ようにすぐ打ち解けられた。

そんな時にお前から
ライブのお誘いがきて…

もう…!!

チケットはずれてしばらく
放心状態だったからなあ

いや…俺もりく君が
いなかったら一人だから…

実は、りくと会うのは
今日が始めてって
いうわけじゃない。

ほんと…りく君と
一緒にいると居心地が
いいというか…

何でもかんでも
たのしんでるし
何事に対しても
まっすぐだし…

過去に何回も一緒に
ライブに行ってる仲だ。

あ…えっと…

気にしないで…

距離感の近さが
気になるというか…

ただ、何回も一緒にになって
最近思ったけど…

オレも
お前の隣が

ずっと楽しいぜ!!

こういう
所だ…

この子は平気で
こういうことを
言ってくる…

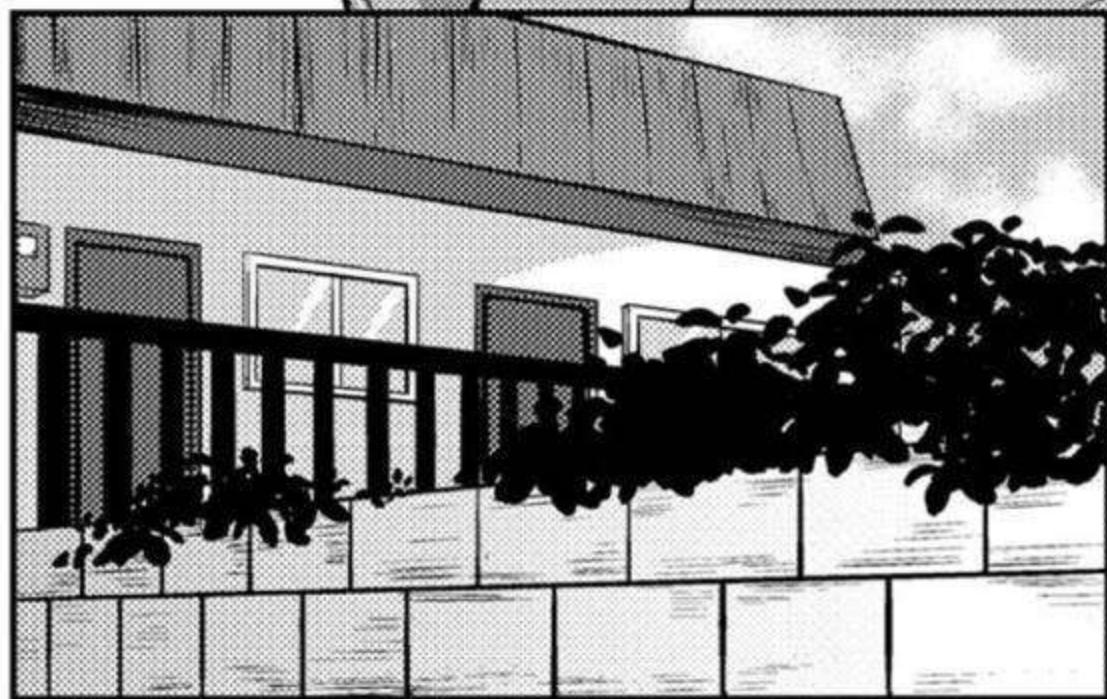
なー!!

まだ全然
話したりねえよ!!

純粹な気持ちで
言ってくれてるだけ…
だと思っただけ…

なあ…!!

お前の家で
もっと話そうぜ!!



ただいま〜

なんかな

ライブのたびに
毎回お邪魔してて
わるいな〜

コトッ

お茶しかないけど
ごめんね〜

ん、それは？

あー、そう!!

今日持ってきた
ものがあるんだ!!

?

この前買ってきた
「超絶ビクトリーロック」の
ブルーレイディスク!!

ずいっ

その総集編を
買ってきたから
全部見るぞ!!

え…
全部…?

もう今日はお前を
寝かせないからな!!

覚悟しろよ!!



寝ちゃった…!!

すうー

すうー

ドゥ

ドゥ

ドゥ

ドゥ

ドゥ

さっきまで寝かせないとか
言っておきながら

すずあ...

気持ちよすぎた
すやすやと...

しかも服を
持ってきてなかったし...

わりー!!
服貸してくんね?





しかたなく俺の
ワイシャツを着せてあげただけど...

サイズがでかいんだよね...
...おかげで...
すやあ...

...視線が...



...ってダメだ!!

距離感近いだけで
勘違いするな俺!!



女の子に風邪を
ひかせるわけには...

りく君には
ベッドに寝てもらって...



なあ...!!

な...

は...は...!!
は...!!



さて俺は...

床にでも
寝るか...

なあ…

オレって…そんなにな…

ドキ

ドキ

ドキ

女子としての魅力が…
そんなにな…ないのか…？

ドキ

とさっ
そんなこと言われたら…

チュッ

ジュア

っ…!!

我慢なんか…
できるわけないだろ…

ハア…

ハア…

ハア…

ハア…

ハア…

ずっと前から…
オレは…待ってたんだからな…

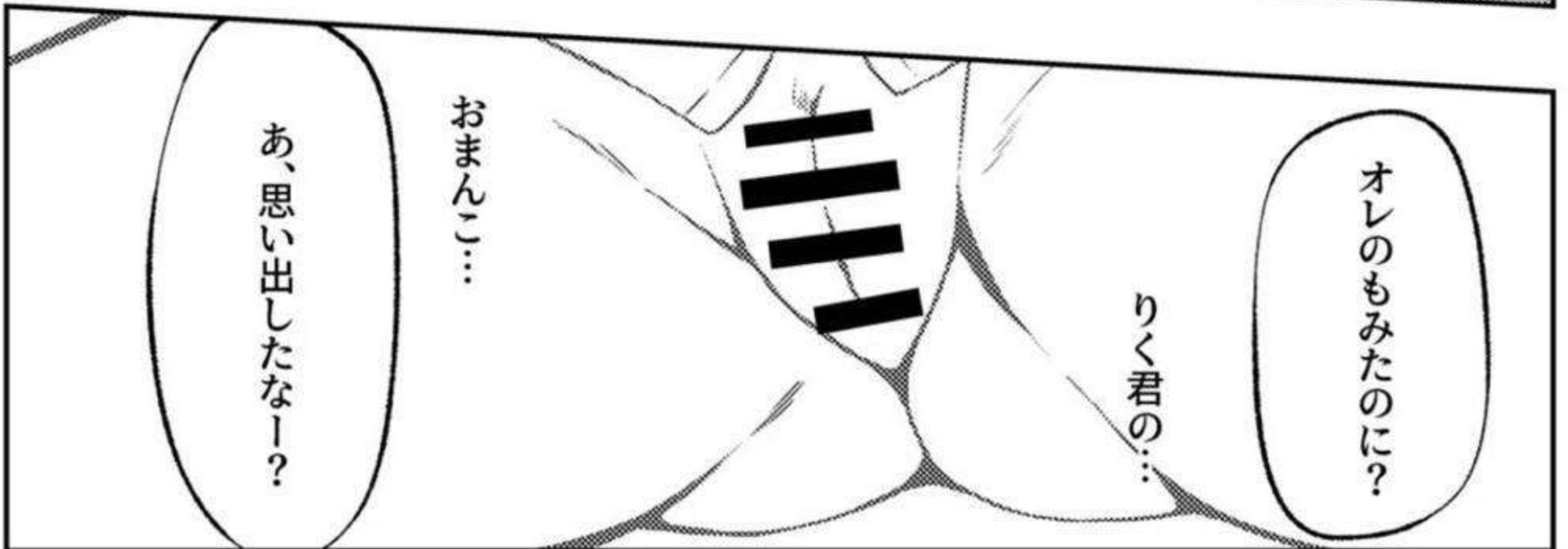
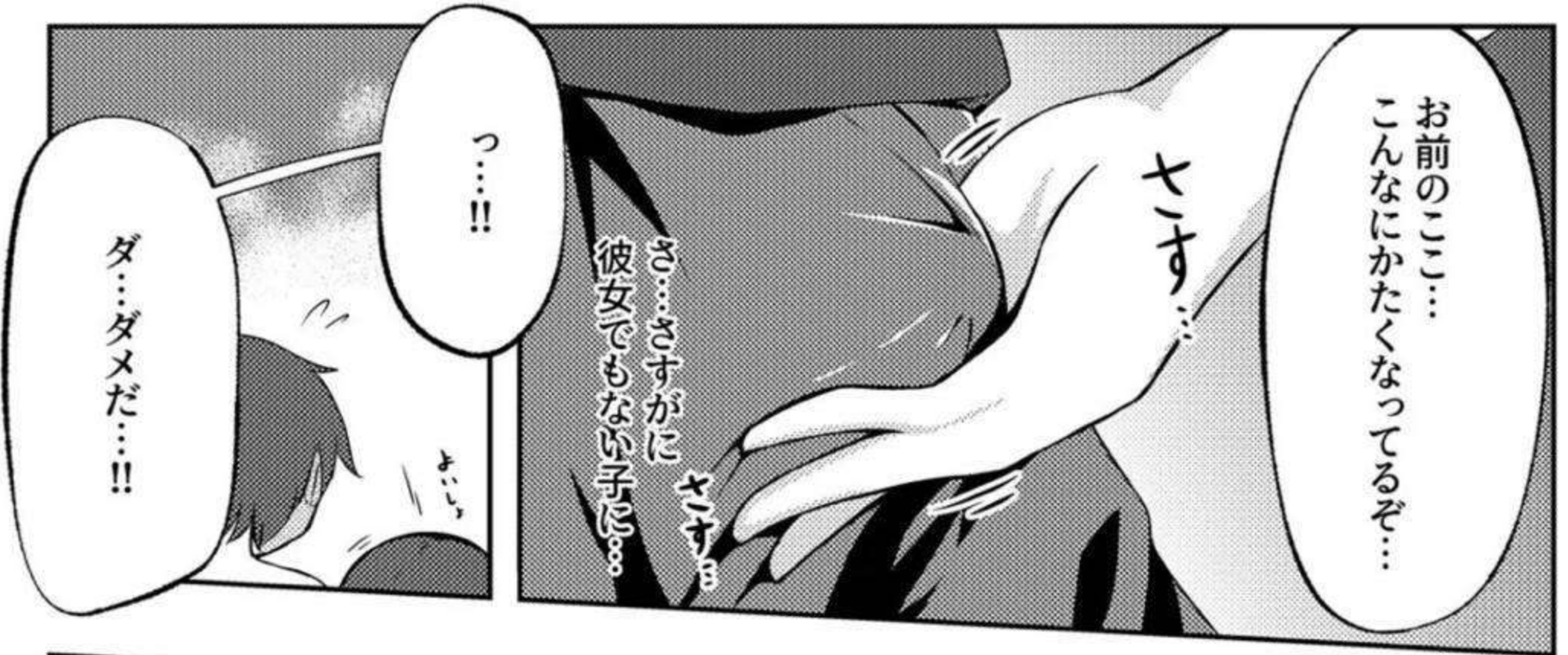
俺だって…
ずっと前から…

一回…チューされただけで…
もう…ここが…

体が…
熱いんだ…

きゃん





じゃあお互いさまって
ことでもいいのかなー？

りくの…女の子とわかる
細い指が俺のをつたって…

そして…

うわ…

あつ…

しかもなんか…

ビキ
は…

ビキ
は…

りくの温かい吐息が
先端部に吹きかかって…

は…

は…

は…

プニプニ
してる…

気持ちよくして
くれたし…

溜まってるの
すっきりさせて
やるよ…

オレの女の子の部分
脳に焼き付いちゃったか？





なんかこれ
楽しくなってきたぞ

ギターの練習してるからか…

細かい手つきまで丁寧で…

りく…

しごく時
シロシロって…
言ってほしい…



あ…ちやんと
やっでくれる…

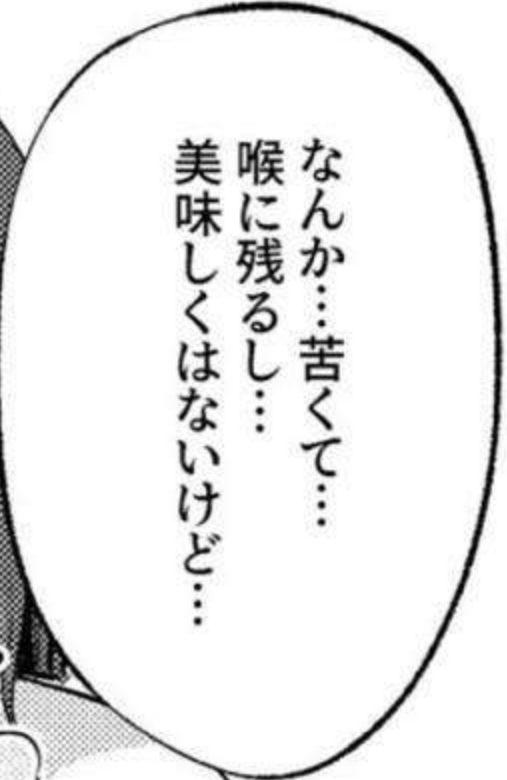
や…

えっ…なんか…
ビクビクがより…

シーロ…
シーロ…♡



こんなの我慢する方が……無理だろ……!!



これで勘違いしないほうが…
無理だよな…?



頑張つて俺の精液を飲んで…
俺のためにこんなことまでして…
発情しきった顔になって…



オレはお前と繋がりたいんだ…
こんなにもやる気があるんだぞ？

好きなバンドについて
話しに来ただけだったのに…

お前のこころもバツチリ
やる気あんじゃん♡

りくに襲われるなんて…

ちがう…

じゃあいいって
ことだよな？

挿入れるぞ…♡

こんな…

はっ…

はっ…

は…

はあ…

ヌッ

ヌッ

ヌッ

ヌッ♡
ヌッ♡
ヌッ♡

ヌッ♡
ヌッ♡

おまえと...
やってる...♡

りくもこんな...
こんな...

気持ちいい...

はあッ

ど...どうだ...?

一生懸命になって...

はあ...

こんな...

ん...

はあ...♡

はあ...

はあ...

オレのおまんこ...
気持ちいいか...?

こんなに...
女の子してたっけ...

ヌグユ

ヌグユ

待って…りくは…

んっ…

あっこれ…
奥まで届いて…

んっ…

おちんちんの振動が…
直接奥に響いて…

なんで俺に対して…
こんな事を…?

ただの興味本位…?

フー…
遊びで…?

んっ…

いや…りくはそんなことを
するような子じゃ…

ズ

ニ

ユ

んっ

ズ

のうとは…

ズ

ニ

ユ

ズ

のう
ニ
ユ

もしかして…
俺の勘違いかもしれないけど…

りくって俺のことを…？
…いや…そんなわけ…

…ここまで
やっちゃったんだ…

勘違いだとしても
想いは伝えよう…

りく…
好きだ…

おせーよ…

届かなくなっちゃったいいい…

返ってこなくなっちゃったいいい…

…バカ…♡

りく…



俺がいうのもだけど…
…りく…こういうことは本当に…
好きな人とやるべき…だと…

だって…これ以上は…

本気で…
りくのことを…

オレはお前と
してるんだぞ…？

オレは…



オレを女として
見てくれるお前が…

関係が崩れると…
もう関わりすら
無くなるかと思ったのに…

ずっと前から…
好きだったんだぞ…

バカ…!!

なんだよ…
その反応…



俺の...
ことを...



はあ...



りくは今日...
そのつもりで
最初から...?
泣くほど...?



オレは
いいから...
もっど...

本気で来いよ...

りくの...想いに...
気持ちに気づけなかった...

俺が弱いから...?

あーぽく



きもち...ん...ん...

奥...突かれて

もう...りくを...
悲じませたくない...

ただ...伝えられたら...
想いを...伝えられると...
思っ...なくて...

気持ち...
伝えられるなんて...

そんなの...
俺も思ってたよ...

俺も...



普段からは想像できない
りくの声が部屋に響いて…

俺も…っ!!

ずっと…前から…

好きだった
お前と…

あっ
気持ちいい…

濃密な香りが…
部屋に充滿して…

あっ



セックスって…

気持ちいいな…♡

そうが…

りく君との
セックスが…

たっ

自分のやれることで
いいんだ…

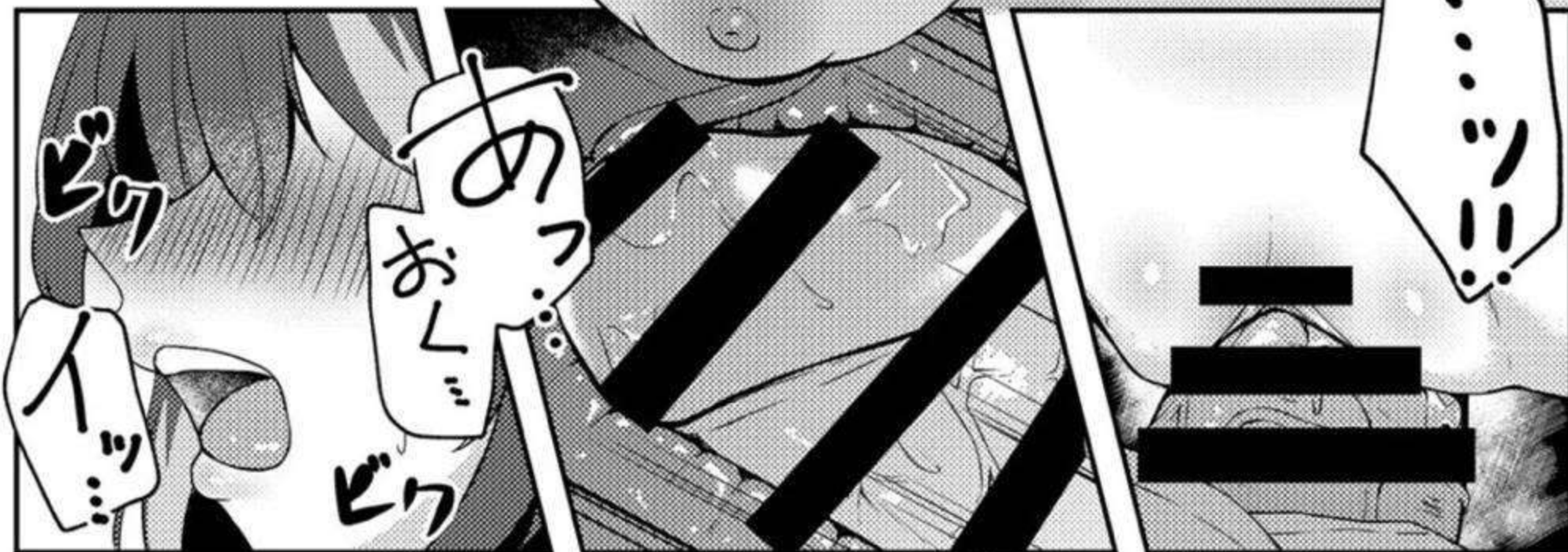
…いや

俺のりくを…
俺の…彼女を…

幸せにして
あげたいからっ…

んっ…♡

ただのセックスだったら
こうはなっていないかも…





ずっと前から
好きだった…

今日もライブに行ったけど…
目を輝かせて…まっすぐ夢を見て

りくくんの彼氏に
なれるなんて…

そんな俺に対して
りくは…
諦めてなかったんだ…

そうやって、りく君が
夢を見てるとき…

いや…
絶対やってやるぜ!!

オレ、ブドーカンで
ライブがしたい!!

なんかこう…
言葉にするのは
難しいんだけど…

最高に女の子してて
可愛いと思うよって

じわ

あ…

えっ…

俺に想いを
伝えることも…
自信の夢も…



な…

なんだよ…

そんな事オレに
言ってくれるのは…
お前だけだぞ…

…っ!!

…そ…

ずっと言いたかったこと言えて
なんか、すっきりしたぜ

りくは夢を
現実にしようとしてる…

いつまでもオレの隣に
いてくれよな

俺に希望も…
そして夢すらも
与えてくれた…



品

品

品

品

品

品

品

品

あとがき

みなさん始めましての方は始めまして。
前回も買っていただいた方はマジで神です。猫詩と申します。

今回は結構余裕をもってスタートしたはずだったのですが、
何故か結構ギリギリになってしまいました…
でもちゃんと出せたからオッケー！…だよな？

今回の莉玖君本は今後もストーリーとして続けていきたいな〜と
思っているので、もしよろしければ今後とも付き合ってくださいと
大変助かります…

では！また来年？になるかもしれませんが、もしかしたら夏にも
参戦するかも？かもしれません！

感想はXにてリプライしていただけますと大変助かります…。

サークル：猫の路地裏
執筆者名：猫詩(ねこうた)
印刷所様：株式会社ホープツーワン様
発行日：2023/12/30
X(Twitter):@Neko_Uta222
contact :nekouta222official@gmail.com



N e k o U t a p r e s e n t
2 0 2 3 / 1 2 / 3 0 w i n t e r